

大型スポーツ施設に関する事項 (四ツ池公園スポーツ施設について)

1 施設概要と現状

資料2

◎篠原地区に計画する県営野球場の建設に係る動向を確認しつつ、必要最低限の機能維持、安全対策を行う。

2 委員会におけるこれまでの四ツ池公園に関する主な審議内容

共通資料

◆大型公共施設建設調査特別委員会 令和5年3月16日

資料3

◎浜松市四ツ池公園運動施設再整備に関する要望書

資料4

(静岡西部陸上競技協会 会長 山口嘉一氏)

- ・いろいろな団体からサウンディング調査等も必要。専門的な調査をした上で議論を深めたい。
(スポーツ振興課)
- ・サウンディング調査等をして、第1種や多目的、陸上専用でいいのかは調査をしなければ判断がつかない。しっかり調査をしていかないといけない。
- ・これから非常に重要な議論に入っていく。専門家の中でこういうことをしっかり検討し、野球にしても陸上にしてもそうだが使う側にとってよりよいものにしていくべきである。

3 本年度の進め方について

◎(仮)四ツ池公園再編等あり方検討委託調査(サウンディング調査を含む)を実施

- ・既存施設(野球場・陸上競技場)、市内類似施設を含めた詳細調査と機能整理、市民の健康増進や憩いの場などの多様な視点での調査、サウンディングやマーケティング調査、再編モデル案(概算費用・導入可能性手法等を含む)など

【行程案】

- ・調査項目について協議(本委員会協議会)
- ・予算要求(9月補正予算) ※令和5年～6年度(1年程度)
- ・公募・事業者選定
- ・調査と並行し、本委員会への中間報告の実施



四ツ池公園運動施設の概要と現状

平成29年3月四ツ池公園運動施設現況調査を一部加工・修正

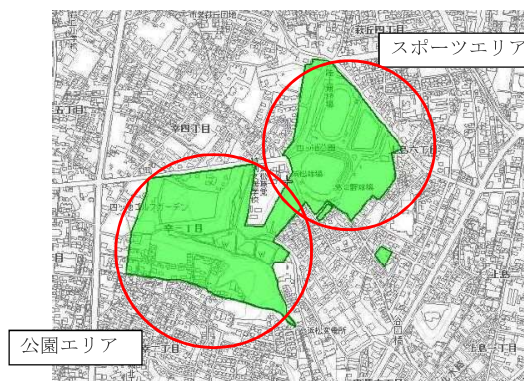
(1) 公園の概要

1) 公園の位置・施設等

①公園の位置



②公園の区域



名 称	四ツ池公園	
開 設	昭和16年	
面 積	計画面積	27.2ha
	供用面積	18.86ha
設 備	陸上競技場	約28,600㎡
	野球場 (浜松球場)	約21,000㎡
	第2野球場	約 8,000㎡
	自由広場	約10,000㎡
	芝生広場、浮き見堂 等	

③公園の現況

■スポーツエリア

<陸上競技場>

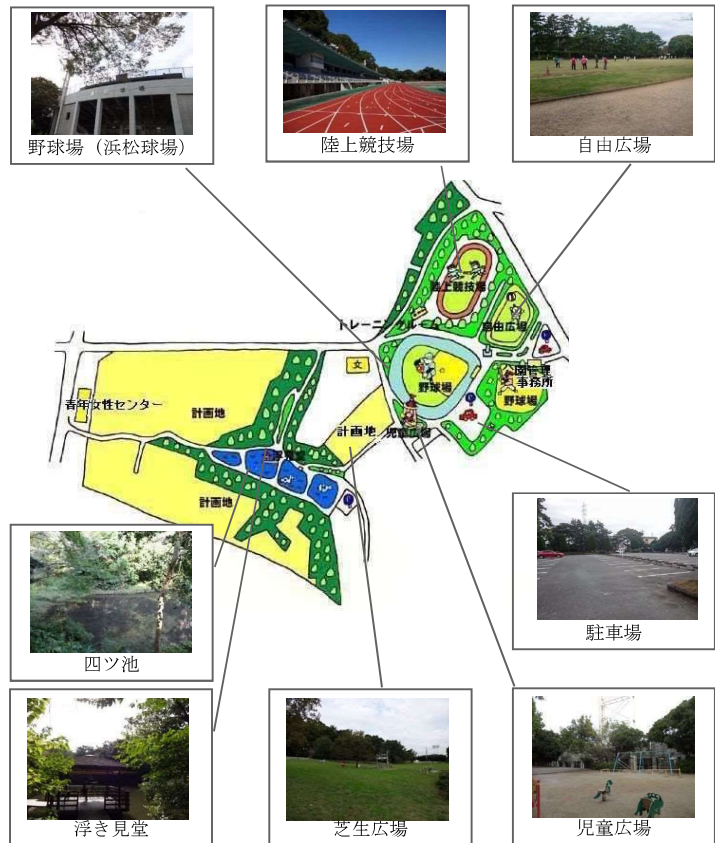
- ・ 陸上大会等での利用
- ・ 学生・一般の方が陸上の練習

<野球場（浜松球場）>

- ・ 各種大会等での利用
- ・ 団体での利用
- ・ 合宿やトレーニング など

<自由広場>

- ・ 陸上競技大会時のアップ練習場
- ・ 地域住民の活動や憩いの場
- ・ ターゲットバードゴルフ・グラウンドゴルフ
- ・ ランニング
- ・ ウォーキング など



2) 運動施設の概要

①陸上競技場

規格	第2種公認陸上競技場
走路	1周400m 8コース 全天候舗装
収容人員 (公称)	合計 : 10,000人 メインスタンド : 1,600人 芝生スタンド : 8,400人
年間利用者数 (自由広場は除く)	平成27年度 : 146,286人 平成26年度 : 148,174人 平成25年度 : 150,264人
主な利用大会	西部陸上選手権大会(県予選) 西部高校選手権大会 浜松市中体連(夏季総体) 浜松市小学校陸上大会 浜松シティマラソン 浜松みんなのスポーツまつり このほか、市内小中学校運動会、小学校陸上大会で年間20日間ほど使用



建替え当初の陸上競技場
(昭和56年)

②野球場（浜松球場）

施設	浜松球場	第2野球場
規格	硬式野球場	軟式野球場
グラウンド	両翼 99.1m 中堅 122m	両翼 80m 中堅 97m
収容人員 (公称)	合計 : 26,000人 内野スタンド : 11,220人 外野スタンド : 14,780人	客席なし
年間利用者数 (会議室を含む)	平成27年度 : 103,913人 平成26年度 : 85,779人 平成25年度 : 97,334人	
主な利用大会	プロ野球公式戦(平均年1回) 都市対抗野球東海地区予選 高校野球静岡県大会(春・夏・秋) JABA静岡大会 スポニチ杯Sリーグ 浜名湖ベースボールカップ 中日軟式野球リーグ	



建替え当初の浜松球場
(昭和54年)

①静岡県内の主な陸上競技場の位置

静岡県内
主な陸上競技場分布図

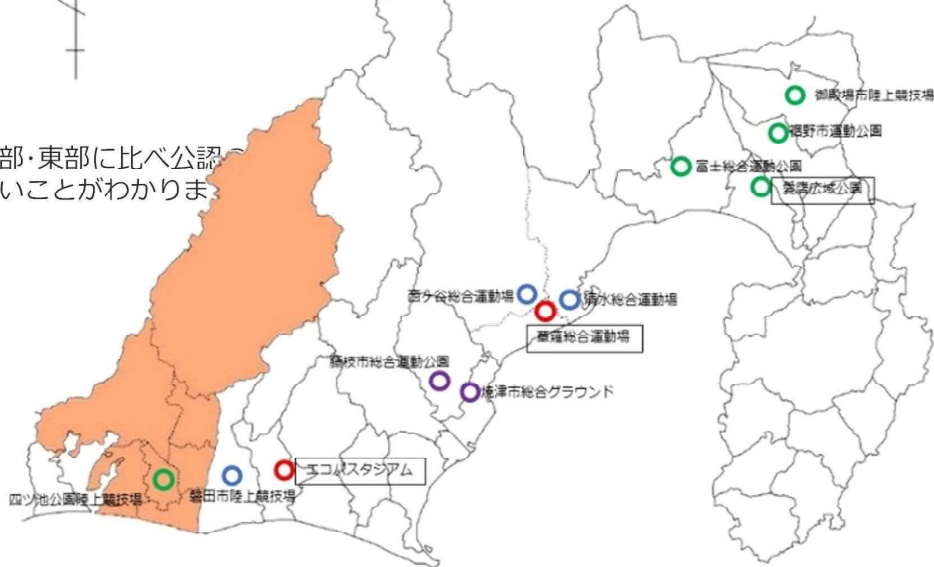


凡例

- 第1種陸上競技場 (第3種の補助競技場が併設)
- 第2種陸上競技場 ● 第3種陸上競技場
- 第4種陸上競技場
- 県営競技場



✓ 県西部は、中部・東部に比べ公認競技場が少ないことがわかります。



①静岡県内の主な野球場の位置

✓ 浜松球場は、県内でも貴重な20,000人以上収容できる大規模な野球場で、高校野球の大会でも主会場として利用

静岡県内
主な硬式野球場分布図



凡例

- 客席20,000席以上
- 客席10,000~19,999席
- 客席10,000席未満
- 県営球場



(1) 運動施設の課題

◆陸上競技場、野球場の共通課題

- 施設、設備の老朽化の進行
⇒維持管理費の増加と施設の安全確保への懸念
- 通常時・大会時を通じ、施設・設備の質や規模等が利用側ニーズとのアンマッチング。
⇒練習時や各大会・試合開催におけるニーズへの対応（他地域施設への流出）
- スポーツを「する」「みる」「ささえる（育てる）」の快適性、利便性の向上
⇒ユニバーサル対応、選手と観客との導線確保、各諸室や機能の確保
- 両施設利用の場合の駐車場の確保、周辺道路の交通問題

◆陸上競技場

- ①スタンドの収容量の不足（大会時）
- ②場内諸室や選手の待機場所等の不足（大会時）
- ③サブグラウンドの確保（大会時）
- ④ナイターの照度不足、スタンドの不等沈下、漏水・逸水

◆野球場

- ①ファールボールの防球対策
- ②夜間照明塔・夜間照明の改修・LED更新
- ③電光掲示板、各設備の改修・更新

◎いずれかの施設を機能拡充する場合、現在よりも施設規模が大きくなることから四ツ池公園スポーツエリア敷地内には両施設を併設することは困難であるため、どちらかの施設の移設が必要となる

浜松市議会大型公共施設建設調査特別委員会会議録

1 開催日時

令和5年3月16日（木）午後3時30分開議

2 開催場所

第1委員会室

3 会議に付した案件

- 1 浜松市四ツ池公園運動施設再整備に関する要望書について（静岡西部陸上競技協会 会長 山口嘉一さん提出）
- 2 遠州灘海浜公園（篠原地区）公園基本計画策定の進捗状況について

4 出席状況

○出席委員（11人）

委員長	黒田 豊	副委員長	井田 博康
委員	小泉 翠	委員	小黒 啓子
委員	丸 英之	委員	松本 康夫
委員	倉田 清一	委員	戸田 誠
委員	湖東 秀隆	委員	平間 良明
委員	和久田 哲男		

○欠席委員（0人）

○議長及び委員外議員（0人）

○説明者の職氏名

技術統括監	吉澤 雄介	市民部長	奥家 章夫
市民部文化振興担当部長	嶋野 聡	市民部次長 (スポーツ振興課長)	金子 哲也
都市整備部長	井熊 久人	都市整備部 花みどり担当部長	奥井 智之
都市整備部次長 (公園課長)	中村 浩一		

○議会事務局職員の職氏名

議会事務局長	大橋 臣夫	議会事務局次長 (議事課長)	鈴木 啓友
調査法制課長	徳田 純一	調査法制課専門監 (調査法制課長補佐)	青葉 陽亮
調査法制課主任 (担当書記)	小久保 貴仁		

会 議

15:30

○黒田豊委員長 ただいまより大型公共施設建設調査特別委員会を開会いたします。

欠席委員の報告はありません。

市政記者の傍聴についてお諮りいたします。許可することよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○黒田豊委員長 許可することといたします。

一般傍聴人の傍聴についてお諮りいたします。申出があれば許可することよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○黒田豊委員長 許可することといたします。

15:31

1 浜松市四ツ池公園運動施設再整備に関する要望書について（静岡西部陸上競技協会 会長 山口嘉一さん提出）

◎結論

市民部次長（スポーツ振興課長）から、浜松市四ツ池公園運動施設再整備に関する要望書について（静岡西部陸上競技協会 会長 山口嘉一さん提出）参考意見の説明があり、これを聞きおきました。

◎発言内容

○黒田豊委員長 それでは協議事項1、静岡西部陸上競技協会会長、山口嘉一さんから提出された浜松市四ツ池公園運動施設再整備に関する要望書についてを議題といたします。

まず、当局から要望書に対する参考意見をお願いいたします。

○市民部次長（スポーツ振興課長） 今回の要望書につきまして、現四ツ池公園の陸上競技場を利用している団体の皆様の御意見と受け止めております。公認種別、それから施設の機能、陸上専用とするか多目的利用にするかについては、一長一短がありますので、要望書を参考に今後どのような施設がよいかの議論を深めてまいりたいと思います。

○黒田豊委員長 当局からの参考意見は終わりました。ただいまの参考意見に対する質疑・意見を許します。

○小黒啓子委員 要望書を提出されました静岡西部陸上競技協会ですけれども、四ツ池公園運動施設を使って競技をされている皆さんのどの程度の組織率と言いますか、網羅をされているのでしょうか。

○市民部次長（スポーツ振興課長） 静岡陸上競技協会は東部・中部・西部に分かれておりまして、その西部になります。この中には例えば高体連、中体連も傘下に属しておりますので、この地域のほぼすべての団体を取りまとめる団体と考えております。

○小黒啓子委員 当局からの参考意見ということで、陸上専用にするのか、多目的にするのかという両方の選択肢が出てきました。それについて結論的なところがどういうふうなプランニングで出てくるのか、今考えていらっしゃる事があれば、どういう時期にどういう内容を出していくということが分かるのかどうか教えてください。

○市民部次長（スポーツ振興課長） 先ほど一長一短ということを申し上げさせていただきましたが、例えば稼働率で言いますと、陸上専用よりも多目的の方が可能性が高まると思います。そういった中で、現在の四ツ池公園陸上競技場の使われ方というのは、高体連の皆さん、それから中体連の皆さんも多く使われているという状況もありますので、そういった観点も踏まえて考えていかなくてははいけませんし、一方で、多目的とした場合は、本当に多目的利用が見込まれるのかといったことで、いろいろな団体からサウンディング調査等も必要になってくると思います。ですので、そういった専門的な調査をした上で議論が深まればと考えております。

○戸田誠委員 改めて陸上競技協会の方々から要望が出てきたということは受け止めをしないとイケないというふうに思っております。ただ、当局が言ったようにサウンディング調査等をして、本当に第1種でいけるのかとか、多目的でいいのか、陸上専用でいいのかというところは調査をしていかないとなかなか判断がつかないと思いますし、前から言っているように、コロナになってサウンディング調査が途中で終わってしまったような状況もあるので、そこはしっかり調査をしていかないとイケないかなと。それから、篠原の野球場の件で、野球場の在り方も引っ張られている状況もあるので、そこら辺についてもしっかりと判断していかないと、このことについては判断できないかなというふうに思っております。ただ、要望書として出してこられたということについては、しっかり受け止めないといけないというふうに思っております。

○平間良明委員 意見になりますけれども、私の地元の自治会のところに、四ツ池公園が入っています。よく近くで見えていますけれども、本当に小・中学生、高校生も含めて非常に利用者が多くですし、また市民のウォーキングとかランニングで、非常に多く利用されていることから、ここに書かれていることは、私としては本当にそのとおりだというふうに思っておりますので、ぜひ、こういったことになればいいなと思います。いずれしても今、県の野球場がどうなるかによってこの状況も変わってくるものですから、意見としてはこれを実現するためにも、県に早く決着がつくように働きかけていただきたいと思います。

○湖東秀隆委員 私どものところも同様に、やっぱり陸上競技場自体は、子供たちの健全育成の関係とか、様々なスポーツ関係の充実も含めて必要ではありますし、第1種、第2種云々という部分については、今後、いろいろと議論を重ねていく中で、またサウンディング調査をする中で、必要なものを浜松市として設置することについてはやぶさかではないと思っておりますので、この内容を軸として、また詳細については、今後の流れもあると思いますので、前向きに建設することについては、我々は異議なく同意しておりますので、ぜひとも充実したものと、逆に言えば、長期に渡って次の代までしっかりと皆さんが喜んで使っていただけるような施設づくりを御検討いただければと思います。我々もこれで、受け止めておきます。

○丸英之委員 同じような意見になって恐縮ですけれども、やはり先ほど黒田委員がエビデンスをとっていただいた、陸上団体のほとんどを包括するような西部陸上競技協会から出た要望書ということで、やはりそういったことは重きを置いて、今後の議論の中において意見をしっかりと受け止めて、これからやっていただくということで。私の子供も中学校で陸上をやっています、もうちょっと綺麗な陸上競技場ができればと当時思っていたのですけれども、そういうところを踏まえて、今までも委員会の中でいろいろな議論がありましたけれども、しっかりとこういった要望は受け止めていただいて、今後の議論の参考にすなりしていただきたいと思っております。

○黒田豊委員長 他にいかがですか。

[発言する者なし]

○黒田豊委員長 私からちょっといいですかね。戸田委員からもありましたサウンディング調査とい

う形で、これからどういう陸上競技場にしていくかということで、四ツ池公園は野球場が外に出るということで一応特別委員会では共有されていることなので、どういう陸上競技場にしていくかということなのですね。実は私たちの会派は当初は多目的を主張していたのですよ。昨年、特別委員会で大分県の昭和電工ドームとか、複合施設を視察してみて非常に価値があったと思っているのですけれど、これから非常に重要な議論に入っていくのかなと。やはり専用にしていく、また多目的、もっと言えば複合施設という考え方もあるのですけれども、専門家の中でこういうことをしっかり検討していただいて、これは野球にしても陸上にしてもそうですけれども、使う側にとってよりよいものにしていくべきなのかなと非常に感じますね。そういう視点も、やはりこういう新しいものを造っていく場合、市民も含めて利用する側に立ってやっていくべきなのかなと、特にこの2年間特別委員会をさせていただいて、非常に感じる部分なのですね。私もちょっと発言をさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは本件は聞き置くことといたします。

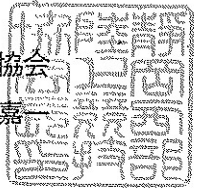


2022年10月吉日

浜松市長 鈴木康友 様

静岡西部陸上競技協会

会長 山口嘉三



浜松市四ツ池公園運動施設再整備に関する要望書

浜松市四ツ池公園陸上競技場は、1940(S15)年に建設されてから多くの市民に愛され、オリンピックをはじめとする国内外の大会で活躍した選手を多く輩出している歴史ある競技場です。浜松市の陸上競技人口は多く、浜松市四ツ池公園陸上競技場の利用者数は全国一とされています。

陸上競技は全てのスポーツの原点であり、陸上競技の発展がスポーツ文化の発展に寄与することになります。また浜松市が目指す「健康寿命の延伸」は、市民の主体的な取り組みが求められ、ランニング・ウォーキングはその最初の一步です。

浜松市四ツ池公園陸上競技場は市内唯一の全天候型陸上競技場であり、平日放課後や土日には多くの小中高校生が、夜間にはランニング愛好家たちが集まり練習しています。時には練習人数が多くなり、計画していた練習が出来ないばかりか衝突事故の危険性も高い状態になっています。また大会時には大会関係者・応援者合わせて1万余人が来場するため駐車場不足が深刻であり、周辺の渋滞と合わせ苦情が出ています。

さらに新競技場を市民スポーツ基地としての機能を持たせ、天候にかかわらずランニング・ウォーキングを楽しめる場を提供することができれば、より多くの市民が主体的に運動する機会を増やすことにつながります。

以上のことから静岡 西部陸上競技協会といたしまして、四ツ池公園運動施設再整備について下記の通り強く要望します。

記

1. 陸上競技の聖地を目指すべく日本陸上競技連盟公認第1種陸上競技場（世界公認）を強く要望します。

現在の陸上競技場を補助競技場（サブトラック）として併設することで、陸上競技の国内外のトップ競技者が出場する大会を開催できる他、陸上競技の拠点として多くのアスリート及び市民ランナーが練習できる環境を提供できます。

2. 新陸上競技場を陸上競技専用とすることを強く要望いたします。

現在の問題点を解決できるばかりか、競技場のレイアウトの自由度が増して競技者のパフォーマンスを最大限に引き出すとともに、応援する者にとっても迫力ある競技を見ることができるようになります。競技しやすい競技場にはトップ競技者が集まり、地元の中高校生をはじめ多くの競技者に大きな刺激をもたらします。

3. 十分な駐車場の確保を強く要望します。

大会時には大会関係者・応援者合わせて1万余人が来場するため駐車場不足が深刻であり、現に苦情が出ている状況です。

年度	四ツ池公園運動施設	遠州灘海浜公園（篠原地区）
1995 (H7)	<p>◆浜松球場施設整備検討調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「陸上競技場は、四ツ池公園が最適地である」 ・「野球場は、篠原地区が最適地である」 	
2015 (H27)		<p>◆ 遠州灘海浜公園（篠原地区）基本構想の策定（静岡県）</p>
2016 (H28)	<p>◆大型スポーツ施設調査特別委員会発足</p>	<p>◆大型スポーツ施設調査特別委員会発足</p> <p>◆野球場を新設する際の適地の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「遠州灘海浜公園（篠原地区）が最適地である」との検討結果を委員会へ報告
2017 (H29)	<p>◆ 四ツ池公園運動施設現況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の現況（利用状況、劣化状況など）調査や他事例、課題の整理 	<p>◆遠州灘海浜公園篠原地区東調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・篠原地区について、環境、気象、交通アクセス、地形・地質、気象、津波被害による影響についての調査結果を報告 市議会は、市の調査結果と「対策を施せば野球場の建設は可能である」との結論を了承
2018 (H30)		<p>◆県への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市議会議長から県知事あてに、「篠原地区への野球場整備を求める要望書」を提出※浜松市長からは「遠州灘海浜公園篠原地区東側区域へ、県西部地域の拠点となる野球場を主体とする公園整備を要望する」旨の要望書を平成23年度から毎年提出
2019 (R1)	<p>◆議論の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場、野球場について、機能や規模、立地の確認を行い、整備方針をR2年度末までに策定（R1.5月議会） 	<p>◆ 遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画の策定に着手（静岡県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画策定の進捗を報告 ※公園の配置計画に関する比較検討プラン原案（3案）の提示
2020 (R2)	<p>◆第1回四ツ池公園再整備プロジェクト・チーム</p> <p>⇒プロジェクトチーム概要、四ツ池公園運動施設の現状把握</p>	<p>◆ 遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画の策定（静岡県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画策定の進捗を報告 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、「多額の財政負担が見込まれる施設整備計画において整備内容やスケジュールの総点検を行う」という県の全庁的な方針に基づいて実施した総点検の結果を報告
2021 (R3)	<p>◆ 第2回四ツ池公園再整備プロジェクト・チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の整理、今後の調査内容の確認（周辺交通、公園利用実態など）（R4年度までに計6回開催） 	<p>◆「比較検討プラン原案」の見直しに向けた調査検討（静岡県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しの方針に基づきアフターコロナ対応や官民連携の事例に関する調査（静岡県）の結果などを報告
2022 (R4)	<p>◆大型公共施設建設調査特別委員会 令和5年3月16日</p> <p>◎浜松市四ツ池公園運動施設再整備に関する要望書（静岡西部陸上競技協会 会長 山口嘉一氏）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的調査の必要性について再確認 	<p>◆遠州灘海浜公園（篠原地区）環境影響予測調査（静岡県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ガメの生態に人工光の影響があることなどを報告 <p>◆公園整備プラン及び野球場タイプの評価を公表（静岡県）（資料1-1,2）</p> <p>◆遠州灘海浜公園（篠原地区）基本計画の公表延期（静岡県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度に官民連携導入可能性調査を実施し、R6年6月の基本計画の公表を目指すなどの予定を報告